

平成22年度 事務事業評価

整理番号
1-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	05	01	01	04	01
細事業名		労働団体等支援事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	吉岡茂昭

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ① 定住の促進 施策方針 2 雇用促進対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 労働関係団体への支援を通じて、市内労働者の経済的、社会的地位の向上及び労働者への福利厚生の実現を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 丹後地域職業訓練受講生 750人 京丹後市職業訓練校訓練生 150人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 労働関係団体に対して運営費補助金を交付して団体の活動を支援するとともに、市内労働者等の職業能力の向上、経済的、社会的地位の向上及び雇用の促進を図った。 丹後地域職業訓練協会 2,589千円 京丹後市職業訓練校 1,734千円 内職友の会 919千円 丹後地区労働者福祉協議会 49千円
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 丹後地域職業訓練受講生数(訓練協会) 612人 京丹後市職業訓練校訓練生 84人 内職友の会加工作業収入実績 2,876千円(実働延人員 188人)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	5,291	国庫支出金		
			府支出金	内職友の会運営費補	342
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		4,949
事業費合計		5,291	合計		5,291

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">運営費補助金を交付することにより、労働関係団体の運営や事業が円滑に行われるとともに、労働者の自発的な職業能力の開発、求職者の雇用促進に結びつき、市の雇用対策、定住促進に繋がった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	運営費補助金を交付することにより、労働関係団体の運営や事業が円滑に行われるとともに、労働者の自発的な職業能力の開発、求職者の雇用促進に結びつき、市の雇用対策、定住促進に繋がった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	運営費補助金を交付することにより、労働関係団体の運営や事業が円滑に行われるとともに、労働者の自発的な職業能力の開発、求職者の雇用促進に結びつき、市の雇用対策、定住促進に繋がった。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">雇用創出を図る観点から、労働者の知識、技能の養成及び福利厚生の充実を図ることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	雇用創出を図る観点から、労働者の知識、技能の養成及び福利厚生の充実を図ることができた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	雇用創出を図る観点から、労働者の知識、技能の養成及び福利厚生の充実を図ることができた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">雇用の創出、労働者の知識、技能の向上及び福利厚生の充実を図るためには、必要不可欠な支援である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	雇用の創出、労働者の知識、技能の向上及び福利厚生の充実を図るためには、必要不可欠な支援である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	雇用の創出、労働者の知識、技能の向上及び福利厚生の充実を図るためには、必要不可欠な支援である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">雇用の創出、労働者の知識、技能の向上及び福利厚生の充実を図るためには、必要不可欠な支援である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	雇用の創出、労働者の知識、技能の向上及び福利厚生の充実を図るためには、必要不可欠な支援である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	雇用の創出、労働者の知識、技能の向上及び福利厚生の充実を図るためには、必要不可欠な支援である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	11
細事業名		機械金属産業総合振興事業費補助金				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後機械工業協同組合が実施する、販路開拓事業及び企画列車企画調査事業について支援し、商工業の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 「丹後ハイテクランド」としての技術集積の全国周知
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 有効かつ効果的な展示会に出展して、「丹後ハイテクランド」としての技術集積を広域的にPRすることができた。 また、丹後機械金属業界として、企業間連携により地域内の既存の技術を活用して列車製造が可能なのか、また、部分的にでも地域資源を活用した企画列車の製造に関与できないのかについて、可能性の調査を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 展示会への出展 (5展示会) 新潟トランス株式会社への訪問調査(企画列車製造)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	1,600	国庫支出金		
			府支出金	未来づくり交付金	790
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		810
事業費合計		1,600	合計		1,600

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 販路開拓事業については、予定通り実施された。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 販路開拓事業については、予定通り実施された。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由 販路開拓事業については、予定通り実施された。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 新たな販路の開拓ひいては商工業の振興を図る上で、妥当なものである。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 新たな販路の開拓ひいては商工業の振興を図る上で、妥当なものである。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由 新たな販路の開拓ひいては商工業の振興を図る上で、妥当なものである。					
○	▲ 少し削減の余地があった						
○	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 機械金属業の振興を図る上で有効な手段と考えられ、継続が必要であるが、経営環境に対応するように内容の検討は行うべき。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	B	A 現状維持	理由 機械金属業の振興を図る上で有効な手段と考えられ、継続が必要であるが、経営環境に対応するように内容の検討は行うべき。	B	B 内容の見直し	B
B	A 現状維持	理由 機械金属業の振興を図る上で有効な手段と考えられ、継続が必要であるが、経営環境に対応するように内容の検討は行うべき。					
B	B 内容の見直し						
B	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 販路開拓については継続して事業実施し、経営環境に合わせて産学連携による新商品開発等の事業を盛り込んでいく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	C	A 事業拡大	理由 販路開拓については継続して事業実施し、経営環境に合わせて産学連携による新商品開発等の事業を盛り込んでいく必要がある。	C	B 現状維持	C
C	A 事業拡大	理由 販路開拓については継続して事業実施し、経営環境に合わせて産学連携による新商品開発等の事業を盛り込んでいく必要がある。					
C	B 現状維持						
C	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	12
細事業名		集積活性化・販路開拓支援補助金				

担当部局	担当課長の氏名
商工観光部	
担当課等	担当者の氏名
商工振興課	吉岡茂昭
	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の産業集積を、より組織的かつ訴求的に機能させ、集積の活性化および効率的な販路開拓を推進するため、市内に拠点を有する同業組合に対し動画による受注促進WEBサイトの構築費用等を補助金として交付する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		0	合計		0

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) 理由 <input checked="" type="radio"/> 遅れている(できていない)
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった 理由 <input checked="" type="radio"/> 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性
	A 現状維持
	B 内容の見直し
	C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性
	A 事業拡大
B 現状維持	
C 事業縮小	

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	03	03
細事業名		商工業支援事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	増田知裕・金木美由紀

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 商工業の振興を図るため、起業・空き店舗活用・新商品開発等の取り組みへの支援、個別の課題解決への支援及び経営者等に必要知識の習得を促進し、地域経済の活性化と雇用の安定を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 商工業の総合的な振興・発展と経営の安定化を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○市内事業者等を対象に、下記の事業に対し「商工業支援補助金」を交付 ・起業・新商品開発・起業及び空き店舗活用案件の事業継続 ○経営課題解決等のため、以下の事業を実施 ・経営相談会 11月に開催。市内2事業者からの相談(経営ビジョン・新販路開拓等)に対応。 ・経営セミナー 本事業での実施なし(丹後地域産業活性化推進会議主催で実施)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 商工業支援補助金 起業3件、新商品開発1件を支援。前年度以前の起業及び空き店舗利用開始に対する事業継続のための支援5件。 経営相談会 地域力連携拠点事業に引き継ぎ、ビジョン策定・販路開拓等を創出。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	94	財源内訳	国庫支出金	
	9			府支出金	
	11			起債	
	19	3,477		分担金・負担金	
		その他			
			一般財源	3,571	
事業費合計		3,571	合計		3,571

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業支援補助金については、年度により件数の増減はあるが、起業・新商品開発等については、毎年新案件を支援・創出している。経営相談会及び経営セミナーについては、相談者や受講者が商工会事業を活用して継続的に指導を受け、経営ビジョン策定・販路開拓・新商品開発等につなげ、実益につながっている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	商工業支援補助金については、年度により件数の増減はあるが、起業・新商品開発等については、毎年新案件を支援・創出している。経営相談会及び経営セミナーについては、相談者や受講者が商工会事業を活用して継続的に指導を受け、経営ビジョン策定・販路開拓・新商品開発等につなげ、実益につながっている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	商工業支援補助金については、年度により件数の増減はあるが、起業・新商品開発等については、毎年新案件を支援・創出している。経営相談会及び経営セミナーについては、相談者や受講者が商工会事業を活用して継続的に指導を受け、経営ビジョン策定・販路開拓・新商品開発等につなげ、実益につながっている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業支援補助金については、補助金そのものが起業・新商品開発等に係る経費の一部であり、削減の余地はない。また、経営相談会についても、大阪市から中小企業診断士(税理士)を招聘する中、市場価格より遥かに低い謝金で対応していただいております。削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	商工業支援補助金については、補助金そのものが起業・新商品開発等に係る経費の一部であり、削減の余地はない。また、経営相談会についても、大阪市から中小企業診断士(税理士)を招聘する中、市場価格より遥かに低い謝金で対応していただいております。削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	商工業支援補助金については、補助金そのものが起業・新商品開発等に係る経費の一部であり、削減の余地はない。また、経営相談会についても、大阪市から中小企業診断士(税理士)を招聘する中、市場価格より遥かに低い謝金で対応していただいております。削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	経営資源に乏しく、また、経営知識や課題解決スキルに弱い中小零細事業者にとって、本事業は必要である。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	事業拡大が起業・新商品開発・経営改善等を多く生み出し、それら個々の成果が集まって産業振興となる。平成22度においては、起業家への2年目補助及び空き店舗対策の市内全域適用を行う。
	A 事業拡大		
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	06	01
細事業名		地域総合整備資金貸付事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域振興に資する民間事業活動等を支援することにより、商工業等の一層の振興を図り、もって活力と魅力ある地域づくりの推進に寄与する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 企業立地及び新規雇用を推進し、活力と魅力ある地域づくりを実現する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域総合整備財団の支援を得て、民間事業者等に供給する無利子資金の貸付を行った。 ■温泉宿泊施設整備事業 30,000千円 ■新病棟建築事業 250,000千円 ■特別養護老人ホーム等新築事業 127,000千円
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) <新規雇用> 温泉宿泊施設整備事業 21人、新病棟建築事業 43人 特別養護老人ホーム等新築事業 52人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	21	407,000	国庫支出金		
			府支出金		
			起債	地域総合整備資金貸	407,000
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		407,000	合計		407,000

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	地域振興に資する民間事業活動に資金貸付を行うことにより、新たな雇用環境を創出し、定住対策及び雇用促進対策を推進することができた。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○ 削減の余地がなかった	理由	当該貸付事業の資金は起債によりまかなわれ、起債利息の75%が交付税措置される効率性の高い制度設計となっており、かつ国の制度であるため、コスト削減の余地はない。
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 民間事業所による地域振興を後押しする重要な事業である。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大	理由 国の制度であり、制度改正がない限り現状維持。
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	07	01
細事業名		起業アイデアコンペ開催事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進 4 産学官による研究・開発体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 連携・協力に関する包括協定を提携している京都工芸繊維大学の学生を対象に、京丹後市の地域資源(自然、地理、文化、歴史、生産物、集積等)を活用して学生の英知を融合させた斬新なアイデアを募集する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) アイデアの起業化・商品化 延べ10件
事業の目的	連携・協力に関する包括協定を提携している京都工芸繊維大学の学生を対象に、京丹後市の地域資源(自然、地理、文化、歴史、生産物、集積等)を活用して学生の英知を融合させた斬新なアイデアを募集する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) アイデアの起業化・商品化 延べ10件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 起業アイデアコンペに応募予定の学生に対し、京丹後市を紹介する目的でオリエンテーション(1泊2日)を開催し、市内の地域資源を活用した素晴らしいアイデアを考案してもらい、上位アイデアについては、プレゼン形式で発表し、審査員による「最終審査会」を行う。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 起業が可能なアイデアの選定 6案

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
	8	650	国庫支出金	
	9	17	府支出金	未来づくり交付金 430
	11	21	起債	
	13	536	分担金・負担金	
	14	20	その他	
			一般財源	814
事業費合計		1,244	合計	1,244

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">最終審査へ進出したアイデアは優秀なもので、商品化の可能性を秘めている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	最終審査へ進出したアイデアは優秀なもので、商品化の可能性を秘めている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	最終審査へ進出したアイデアは優秀なもので、商品化の可能性を秘めている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京都工芸繊維大学と経費の見直しについての協議を行い、可能な限りの削減に努める。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	京都工芸繊維大学と経費の見直しについての協議を行い、可能な限りの削減に努める。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	京都工芸繊維大学と経費の見直しについての協議を行い、可能な限りの削減に努める。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当初計画の3年が終了(21年度が最後)していることから、今後のあり方について検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	当初計画の3年が終了(21年度が最後)していることから、今後のあり方について検討する必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	当初計画の3年が終了(21年度が最後)していることから、今後のあり方について検討する必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当初計画の3年が終了(21年度が最後)していることから、今後のあり方について検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	当初計画の3年が終了(21年度が最後)していることから、今後のあり方について検討する必要がある。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	当初計画の3年が終了(21年度が最後)していることから、今後のあり方について検討する必要がある。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	07	02
細事業名		産学連携コーディネート事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平・永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進 4 産学官による研究・開発体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 産学連携により、事業者や事業団体等が持つ技術的・経営的課題を解決し、事業成長を促進することにより商工業の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 「事業経営・技術相談会」相談件数 5件 研究協力体制とのコーディネート 5件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 「事業経営・技術相談会」の開催とフォローアップ 京都工芸繊維大学の創立60周年事業の一環として実施される「大学サイエンスフェスタ in Tokyo」に参加し、地域連携先である本市の観光や丹後ちりめんのPRを行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 「事業経営・技術相談会」相談件数 4件 来場者に対する京丹後市の認知度向上、地場産品のPR販売

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	9	319	国庫支出金		
	12	42	府支出金		
	14	4	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		365
事業費合計		365	合計		365

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">深刻な不況の影響で研究開発への動きが鈍る中、事業実績としてはやや不振であった。しかし、今後の景気回復期の躍進に向けて相談事業を継続することは必要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	深刻な不況の影響で研究開発への動きが鈍る中、事業実績としてはやや不振であった。しかし、今後の景気回復期の躍進に向けて相談事業を継続することは必要である。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	深刻な不況の影響で研究開発への動きが鈍る中、事業実績としてはやや不振であった。しかし、今後の景気回復期の躍進に向けて相談事業を継続することは必要である。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">コーディネートのために必要な経費(旅費)である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	コーディネートのために必要な経費(旅費)である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	コーディネートのために必要な経費(旅費)である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">経営コンサルタント業、マーケティング代行業や本格的な産業技術研究機関が市内に存在しない中、大学との連携は個々の企業や業界にとって、成長を図る上で必須の連携機関であり、引き続き維持・拡大する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	経営コンサルタント業、マーケティング代行業や本格的な産業技術研究機関が市内に存在しない中、大学との連携は個々の企業や業界にとって、成長を図る上で必須の連携機関であり、引き続き維持・拡大する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	経営コンサルタント業、マーケティング代行業や本格的な産業技術研究機関が市内に存在しない中、大学との連携は個々の企業や業界にとって、成長を図る上で必須の連携機関であり、引き続き維持・拡大する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">上記の理由から、企業や業界の成長のために事業の維持・拡大を図る必要がある、担当できるコーディネーターの養成も図っていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	上記の理由から、企業や業界の成長のために事業の維持・拡大を図る必要がある、担当できるコーディネーターの養成も図っていく必要がある。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	上記の理由から、企業や業界の成長のために事業の維持・拡大を図る必要がある、担当できるコーディネーターの養成も図っていく必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	07	03
細事業名		産学連携推進事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	高田亮平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 1 新たな産業おこしの推進 4 産学官による研究・開発体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 産学公連携の拠点施設である京都工芸繊維大学京丹後キャンパス(京丹後市京都工芸繊維大学地域連携センター)の維持管理について支援し、商工業の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	産学公連携の拠点施設である京都工芸繊維大学京丹後キャンパス(京丹後市京都工芸繊維大学地域連携センター)の維持管理について支援し、商工業の振興を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの維持管理を行った。 ■トイレセンサー交換 ■雨漏り修繕 ■ウッドデッキ塗布用防腐剤購入
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 施設・設備の維持管理を行い、産学公連携拠点の良好な環境を維持することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	275	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		275
			合計		275

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最低限の経費で京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの適正な維持管理等が行われた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	産学公の連携拠点施設の維持、また産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「商工業の振興」を図る上でも必要な事業である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	産学公の連携拠点施設の維持、また産学公連携事業への支援は、総合計画に掲げる「商工業の振興」を図る上でも必要な事業である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-17

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	03	02	01
細事業名		指定管理施設運営事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	吉岡茂昭

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の商工業施設について、施設・設備の適正な維持管理及び管理運営等を行い、施設利用者の利便性の向上と合わせて商工業の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 指定管理者である京丹後市商工会により、市内の商工業施設・設備について、適正な維持管理及び管理運営等が行われた。 指定管理施設: 京丹後市大宮織物ホール 京丹後市丹後商業活性化センター
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 適正な維持管理等が行われた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	4,133	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		4,133
事業費合計		4,133	合計		4,133

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最低限の経費で適正な商工業施設・設備の維持管理等が行われた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	必要最低限の経費で市内の商工業施設の適正な維持管理等が行われた。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-18

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	01	01
細事業名		商工会助成事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	吉岡茂昭

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営相談等の支援活動、地域のコミュニティ活動等に対して補助金を交付し、本市の商工業の振興、発展を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 商工会員数の拡大

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ①小規模事業経営支援事業費補助金(82,600千円) 京丹後市商工会による経営相談、金融斡旋、巡回指導及びビジネスサポートセンター事業など地域に密着した活動や事業を支援した。 ②織物指導事業費補助金(12,080千円) 織物指導に係る経費の一部を支援した。 ③優良従業員表彰事業費補助金(360千円) 市内の永年勤続従業員のうち、勤続20年の者に対して市長表彰を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 巡回指導4,920件、窓口指導3,934件、金融斡旋98件、専門家派遣143件(68事業所)等会員のニーズに対応した活動を行った。織物指導事業では延べ3,255件の申請があり織物業者の経費軽減を図った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	95,040	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		95,040
事業費合計		95,040	合計		95,040

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業者への経営相談、経営支援等を行うとともに、現下の経済環境に対応するため教育訓練を実施し、市内事業者の雇用維持に努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	商工業者への経営相談、経営支援等を行うとともに、現下の経済環境に対応するため教育訓練を実施し、市内事業者の雇用維持に努めた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	商工業者への経営相談、経営支援等を行うとともに、現下の経済環境に対応するため教育訓練を実施し、市内事業者の雇用維持に努めた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業者への経営支援をはじめ、商工業の振興を図るためには、必要不可欠な支援である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	商工業者への経営支援をはじめ、商工業の振興を図るためには、必要不可欠な支援である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	商工業者への経営支援をはじめ、商工業の振興を図るためには、必要不可欠な支援である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">合併して3年が経過する中で、更に、商工会員に対するスピーディで専門的な対応が求められているとともに、新規の商工会員の獲得が課題である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	合併して3年が経過する中で、更に、商工会員に対するスピーディで専門的な対応が求められているとともに、新規の商工会員の獲得が課題である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	合併して3年が経過する中で、更に、商工会員に対するスピーディで専門的な対応が求められているとともに、新規の商工会員の獲得が課題である。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業の振興を図るためには商工会の役割は非常に大きく、その支援は不可欠であり、市は商工会との連携を強化して地域経済の活性化を図る必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	商工業の振興を図るためには商工会の役割は非常に大きく、その支援は不可欠であり、市は商工会との連携を強化して地域経済の活性化を図る必要がある。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	商工業の振興を図るためには商工会の役割は非常に大きく、その支援は不可欠であり、市は商工会との連携を強化して地域経済の活性化を図る必要がある。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	03	02
細事業名		信用保証料補助金				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	金木美由紀

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 商工業者等が事業に必要な運転資金や設備資金を借り入れた際に負担する、信用保証料の一部を補助することにより、資金調達を円滑化し、もって市内商工業の振興に寄与する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 商工業の総合的な振興・発展と経営の安定を図る。 補助金交付件数 600件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 商工業者が経営安定のために事業資金を京都信用保証協会の保証を得て借り入れた場合に、負担した保証料の一部を補助金として交付。 特に、今年度については全業種補助率100%とし、建設業者のみ上限を60万円とした。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 補助金交付件数 564件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	120,419	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		120,419
事業費合計		120,419	合計		120,419

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">具体的効果、数値効果を図ることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと考え。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	具体的効果、数値効果を図ることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと考え。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	具体的効果、数値効果を図ることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと考え。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">不況が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化を図る上では、妥当なもの判断できる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	不況が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化を図る上では、妥当なもの判断できる。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	不況が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化を図る上では、妥当なもの判断できる。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">商工業者の経営の安定化等を図る上では、最も有効な手段と考えられ、継続が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	商工業者の経営の安定化等を図る上では、最も有効な手段と考えられ、継続が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	商工業者の経営の安定化等を図る上では、最も有効な手段と考えられ、継続が必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市内の景況を見定めながら、その補助率等については検討が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	市内の景況を見定めながら、その補助率等については検討が必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	市内の景況を見定めながら、その補助率等については検討が必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-20

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	03	01
細事業名		あんしん借換資金等利子補給事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	金木美由紀

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 6 地元商業の振興と事業者への支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 商工業者等が事業に必要な運転資金や設備資金を借り入れ、返済の際に負担する利子の一部を補給することで、資金の調達を円滑にし、もって市内商工業の振興に寄与する。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 商工業の総合的な振興・発展と経営の安定を図る。 補助金交付件数 2,000件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 商工業者等が経営安定のために事業資金を借り入れ、その利子を支払われた場合に、負担した利子の一部を補助した。特に、今年度は「あんしん借換融資」に係る利子については全額補給を行った。
平成21年度事業の效果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 補助金交付件数 2,015件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	247,952	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		247,952
事業費合計		247,952	合計		247,952

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由 具体的な効果、数値効果をはかることは難しいが、成果指標は概ね達成できたと思われる。
	○ 進捗している(できている)	
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○	○ 削減の余地がなかった	理由 景気低迷が続く中、商工業者の財政的な負担軽減、また経営の安定化をはかるうえでは、妥当なもの判断できる。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 商工業の経営の安定化等を図る上では、もっとも有効な手段と考えられ、継続が必要である。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大	理由 市内の景況を見定めながら、その補給率等については検討が必要である。
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-23

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	04
細事業名		和装産地関連事業負担金				

担当部局	商工観光部
担当課等	担当課長の氏名
商工振興課	吉岡茂昭
	担当者の氏名
	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ・全国の和装産地における和装振興策や流通実態について情報の交換や共有を図り、産地のみならず和装産業全体の振興を図る。 ・丹後ちりめん始祖(森田翁)の遺徳を偲ぶ式典経費を支援することで、丹後ちりめん産業の復興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 和装産地自治体および企業が連携した和装プロモーションならびに商品開発の取り組み実現

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ・全国和装産地市町村協議会に負担金(30千円)を支払い、協議会活動に協力した。 ・森田翁顕彰会に負担金(50千円)を支払い、丹後ちりめん産業の振興に寄与した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 協議会活動への参加による和装業界や産地情報の入手、和装の魅力や産地情報発信(参加自治体:18市町、情報紙発行:年1回、稀少道具類に関する調査研究、きものサミットin京都・西陣への参加)、ちりめん始祖森田翁慰霊祭(H21.11.2開催)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	80	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		80
事業費合計		80	合計		80

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全国の和装産地や業界の状況、また和装産業の振興に向けた取り組みなどを情報共有する機関として機能している。また、協議会のスケールメリットを活かし、産地ならびに和装のプロモーション事業が実施されている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	全国の和装産地や業界の状況、また和装産業の振興に向けた取り組みなどを情報共有する機関として機能している。また、協議会のスケールメリットを活かし、産地ならびに和装のプロモーション事業が実施されている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	全国の和装産地や業界の状況、また和装産業の振興に向けた取り組みなどを情報共有する機関として機能している。また、協議会のスケールメリットを活かし、産地ならびに和装のプロモーション事業が実施されている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">協議会の活動内容に対する本市の負担金の額は妥当である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	協議会の活動内容に対する本市の負担金の額は妥当である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	協議会の活動内容に対する本市の負担金の額は妥当である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	全国規模を持つ唯一の和装産地市町村協議会として、H22年1月に発足した「シルクのまちづくり市区町村協議会」と相互に補完・連携しながら、活動を継続する必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-24

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	05
細事業名		ちりめん関連事業補助金				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市きもの交流会が行う会員の事業経営や商品開発等に係る能力の向上、加えて、和装や丹後織物の魅力発信を目的とした活動に対し支援を行い、本市の織物業ならびに関連産業の振興を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 会員数の増加(22→25)、会員の全市拡大(H21年度時点:網野、丹後、峰山) 観光業者などとの誘客を目的とした連携事業の実施(年数回)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市きもの交流会に対し、運営補助金として1,440千円の財政支援を行うとともに、事務局として事業事務などの支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 和装や丹後織物の魅力発信(京都文化博物館、大学サイエンスフェスタin Tokyo、きもの日和2010with目黒雅叙園、第59回京丹後ちりめん祭への出展)、会員の能力向上(視察研修1回)、市民への啓蒙・啓発(ちりめん卒業証書の製作)など

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	1,440	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 633
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	807
事業費合計		1,440	合計	1,440

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民に対し、交流会が実施する事業への参加や活動情報の発信などを通じて団体をPRしている。また、H21年度において、観光協会や旅行会社と連携し、きもの体験モニターツアーを実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民に対し、交流会が実施する事業への参加や活動情報の発信などを通じて団体をPRしている。また、H21年度において、観光協会や旅行会社と連携し、きもの体験モニターツアーを実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市民に対し、交流会が実施する事業への参加や活動情報の発信などを通じて団体をPRしている。また、H21年度において、観光協会や旅行会社と連携し、きもの体験モニターツアーを実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京丹後市きもの交流会においては、会員の能力向上、和装や丹後織物の魅力発信、市民への啓蒙・啓発などを目的に積極的に活動を展開しており、その効果は大きいものと評価している。市の財政支援は妥当な額であると考えているが、市の財政事情も考慮し、H22年度は補助金の7%カットを実施する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	京丹後市きもの交流会においては、会員の能力向上、和装や丹後織物の魅力発信、市民への啓蒙・啓発などを目的に積極的に活動を展開しており、その効果は大きいものと評価している。市の財政支援は妥当な額であると考えているが、市の財政事情も考慮し、H22年度は補助金の7%カットを実施する。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	京丹後市きもの交流会においては、会員の能力向上、和装や丹後織物の魅力発信、市民への啓蒙・啓発などを目的に積極的に活動を展開しており、その効果は大きいものと評価している。市の財政支援は妥当な額であると考えているが、市の財政事情も考慮し、H22年度は補助金の7%カットを実施する。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後も団体が積極的にを行う織物業や地域振興に寄与する活動に対し、財政ならびに人的な面から支援を行う。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	今後も団体が積極的にを行う織物業や地域振興に寄与する活動に対し、財政ならびに人的な面から支援を行う。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	今後も団体が積極的にを行う織物業や地域振興に寄与する活動に対し、財政ならびに人的な面から支援を行う。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">団体の事業活動を阻害しないためにも、補助金の削減は考えたくないところであるが、市の財政事情も考慮し、H22年度より3年間で約2割の補助金カットを行うものとする。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	C	A 事業拡大	理由	団体の事業活動を阻害しないためにも、補助金の削減は考えたくないところであるが、市の財政事情も考慮し、H22年度より3年間で約2割の補助金カットを行うものとする。	B	B 現状維持	C
C	A 事業拡大	理由	団体の事業活動を阻害しないためにも、補助金の削減は考えたくないところであるが、市の財政事情も考慮し、H22年度より3年間で約2割の補助金カットを行うものとする。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-25

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	02	06
細事業名		丹後ファッションウィーク開催委員会補助金				

担当部署	担当課長の氏名
商工観光部	
担当課等	担当者の氏名
商工振興課	吉岡茂昭
	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 「丹後織物」の新しい魅力の発信による認知度の向上と、日本最大の絹織物産地「丹後」の競争力の強化を図るため、新たな販路開拓、産官学連携の強化並びに和装産地間の連携を骨格に開催される「丹後ファッションウィーク事業」の実施団体(TFW開催委員会)に対して支援を行い、丹後織物関連産業の活性化を推進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 繊維素材見本市での有効商談件数:1社10件以上(H21:16企業参加、1社平均5件) 産官学連携事業・連携校数:5校以上 和装産地間連携プロモーション事業の実施による和装需要の増加

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) TFW開催委員会に運営補助金として7,857千円の財政支援を行うとともに、事務局として事業事務などの支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 繊維素材見本市での有効商談件数:81件(16企業)、丹後織物ならびに産地のPR 産官学連携事業における連携校数:4校(関西圏のファッション関連校) 京都市との和装産地間連携事業の実施による和装ならびに丹後織物の魅力発信

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	7,857	国庫支出金	
			府支出金	未来づくり交付金 3,800
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	4,057
事業費合計		7,857	合計	7,857

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由 繊維素材見本市では、新規顧客および既存顧客との商談実績があり、丹後織物の需要拡大につながっている。産官学連携事業の継続により、関西圏のファッション関連校4校との信頼関係が構築されつつある。和装ならびに産地プロモーションを目的とした京都市との連携体制が構築されつつある。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由 丹後産地の減退は危機的な状況にあり、丹後全体でその振興に取り組む本事業の必要性は年々高まるものである。なお、事業規模縮小による全体経費の削減は可能である。

ACTION		
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 今後も産地が一丸となり取り組むことが重要。販路開拓やファッション関連校との関係構築は、短期間で成果を得にくい継続した取り組みが求められる。毎回、より効果的で実需につながる内容の見直しを行うとともに、他産地との連携も視野に入れて取り組む。
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 市の基幹産業への支援は必要不可欠。従来の販路開拓、産官学連携事業に、21年度からは京都市との連携事業が加わり、事業全体としては拡大傾向にある。今後も限られた財源の使途を工夫するなど、それぞれの事業がより効果的で実需につながる取り組みとなるよう努める。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-26

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	05	01
細事業名		織物業実態統計調査事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	担当課長の氏名
商工振興課	吉岡茂昭
	担当者の氏名
	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市
	計画項目 (施策) ④ 商工業の振興
	施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の基幹産業の一つである織物業の振興に必要な施策を検討するため、市内織物業者を対象に実態調査を行う。
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 調査票回収率の向上:95%

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成20年度に実施した京丹後市織物実態統計調査の報告書を作成し、織物事業者や関係機関などへの配布を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 調査報告書作成数:300部 調査報告書配布数:156ヶ所 市内の織物業の実態把握、統計情報提供

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	105	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		105
事業費合計		105	合計		105

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">本市において就業人口割合の大きい織物業の実態を把握することは、行政施策立案の上でも必要不可欠である。また、統計資料を作成し、市内の織物事業者や関係機関などにフィードバックすることも重要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	本市において就業人口割合の大きい織物業の実態を把握することは、行政施策立案の上でも必要不可欠である。また、統計資料を作成し、市内の織物事業者や関係機関などにフィードバックすることも重要である。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	本市において就業人口割合の大きい織物業の実態を把握することは、行政施策立案の上でも必要不可欠である。また、統計資料を作成し、市内の織物事業者や関係機関などにフィードバックすることも重要である。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">前年度に実施した実態調査の結果を集計・製本し、市内の織物事業者や関係機関にフィードバックすることは、先の織物業の振興・発展を図る上で必要である。調査報告書の作成にあたっては、集計作業は職員が行い、製本のみ外注した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	前年度に実施した実態調査の結果を集計・製本し、市内の織物事業者や関係機関にフィードバックすることは、先の織物業の振興・発展を図る上で必要である。調査報告書の作成にあたっては、集計作業は職員が行い、製本のみ外注した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	前年度に実施した実態調査の結果を集計・製本し、市内の織物事業者や関係機関にフィードバックすることは、先の織物業の振興・発展を図る上で必要である。調査報告書の作成にあたっては、集計作業は職員が行い、製本のみ外注した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">次回の調査については、費用対効果も勘案し、平成23年度に実施される経済センサス全数調査にあわせて実施する。なお、今後の事業所数の増減や業況の変化を踏まえ、調査規模や内容の見直しを行うものとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	次回の調査については、費用対効果も勘案し、平成23年度に実施される経済センサス全数調査にあわせて実施する。なお、今後の事業所数の増減や業況の変化を踏まえ、調査規模や内容の見直しを行うものとする。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	次回の調査については、費用対効果も勘案し、平成23年度に実施される経済センサス全数調査にあわせて実施する。なお、今後の事業所数の増減や業況の変化を踏まえ、調査規模や内容の見直しを行うものとする。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">事業所数が減少した場合は、それに伴い調査経費の節減を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	事業所数が減少した場合は、それに伴い調査経費の節減を図る。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	事業所数が減少した場合は、それに伴い調査経費の節減を図る。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-27

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	02	12	01
細事業名	シルクのまちづくり市町村協議会設立経費(H21) シルクのまちづくり事業(H22~)					

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) シルクに関連する産業またはシルクに関係する歴史・文化を持つ市区町村等で組織する「シルクのまちづくり市町村協議会」の活動に参加し、もってシルク産業の振興とシルク文化を活用した魅力ある地域づくりを推進する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 会員市区町村の増加:30自治体(H21年度:25) 顧問・協賛団体の増加:顧問15(H21年度:9)、協賛団体30(H21年度:23) 産地間で連携した商品開発や展示会の合同開催などの取り組み実現

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 「シルクのまちづくり市町村協議会」の設立発起自治体の一つとして、本市が設立準備事務局を担い、平成22年1月26日に全国24自治体が集結し協議会が発足。協議会設立後は、本市が事務局を担い、シルク産業の振興・発展に向け活動を展開した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) シルクに関係する全国の自治体(25)、業界団体および関係者による連携体制の構築 特別会員(経済産業省繊維課長ほか4名)、顧問(ファッションジャーナリスト、テキスタイルデザイナーなど9名)、協賛団体(シルク関連業界23団体)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	9	346	財源内訳	国庫支出金	
	11	135		府支出金	
	12	3		起債	
				分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	484	
事業費合計		484	合計		484

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">自治体や業界団体および関係者による全国規模の協議会が発足。シルク産業の活性化に向けた礎ができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	自治体や業界団体および関係者による全国規模の協議会が発足。シルク産業の活性化に向けた礎ができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	自治体や業界団体および関係者による全国規模の協議会が発足。シルク産業の活性化に向けた礎ができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">協議会設立の中心自治体として設立準備事務局を担い、今後も事務局として協議会活動を牽引する必要があることから必要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	協議会設立の中心自治体として設立準備事務局を担い、今後も事務局として協議会活動を牽引する必要があることから必要である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	協議会設立の中心自治体として設立準備事務局を担い、今後も事務局として協議会活動を牽引する必要があることから必要である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	H22年度より協議会活動を本格化し、まずは会員自治体間でのシルク産業・文化に関わる諸課題の共有と情報交換を中心に、シルク産業の活性化に向けた政策と課題の研究、シルク産業・文化の魅力発信などに取り組んでいく。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	H22年度より本格的に協議会活動が展開されるが、本協議会への会員負担はゼロなので、協議会の自主財源確保のため、国などの補助事業を活用して事業を実施していく。協議会活動への参加にあたり、本市が支出する経費は、職員の旅費と情報誌の購読料等である。
	A 事業拡大		
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
5-28

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	03	01	01
細事業名		峰山織物センター管理運営事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	永島一陽

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ④ 商工業の振興 施策方針 7 新・丹後ちりめん産業の総合的な振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 織物業の振興及び住民の福祉増進のため、峰山織物センターを管理運営し、広く市民の利用に供する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 施設利用件数:700件(H21:656件) 施設利用者数:10,000人(H21:9,179人)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 各種文化団体や福祉団体の活動増進に寄与するため、また、京丹後市職業訓練校や峰山地域公民館が行う技能の取得や能力の向上を目的とした各種教室など、広く市民の利用に供するよう、施設の適正な維持管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 施設利用件数:656件 施設利用者数:9,179人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	1,063	財源内訳	国庫支出金	
	12	52		府支出金	
	13	1,933		起債	
	14	200		分担金・負担金	
			その他	公有財産使用料	110
				センター使用料	103
			一般財源		3,035
事業費合計		3,248	合計		3,248

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の安全かつ快適な維持管理運営に努めることにより、各種文化団体や福祉団体利用者の各種活動の増進に寄与した。また、京丹後市職業訓練校や峰山地域公民館の各種教室も開催され、技能の取得や能力の向上などスキルアップの場として多くの市民に利用された。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設の安全かつ快適な維持管理運営に努めることにより、各種文化団体や福祉団体利用者の各種活動の増進に寄与した。また、京丹後市職業訓練校や峰山地域公民館の各種教室も開催され、技能の取得や能力の向上などスキルアップの場として多くの市民に利用された。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	施設の安全かつ快適な維持管理運営に努めることにより、各種文化団体や福祉団体利用者の各種活動の増進に寄与した。また、京丹後市職業訓練校や峰山地域公民館の各種教室も開催され、技能の取得や能力の向上などスキルアップの場として多くの市民に利用された。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市の財政状況が厳しい中で、事業予算も年々削減されており、必要最低限の予算で維持管理運営を行っている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	市の財政状況が厳しい中で、事業予算も年々削減されており、必要最低限の予算で維持管理運営を行っている。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	市の財政状況が厳しい中で、事業予算も年々削減されており、必要最低限の予算で維持管理運営を行っている。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">年間約1万人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	年間約1万人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	年間約1万人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営が必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">年間約1万人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	年間約1万人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営が必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	年間約1万人が利用する施設であり、今後も安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な維持管理運営が必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
35-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	07	01	01	02	01
細事業名		消費生活推進事業				

担当部局	商工観光部
担当課等	商工振興課
担当課長の氏名	吉岡茂昭
担当者の氏名	金木美由紀

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑦ 防犯・交通安全の推進 施策方針 4 消費者保護対策の充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 消費生活センターを開設し、多種多様化する相談に対応するとともに、消費者グループによる学習会、研修会を通じて啓発活動を行い、市民(消費者)が安心して暮らせる環境づくりをめざす。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民相談室等の他の相談窓口との連携を目指す。また、研修会等の開催による知識の普及や啓発活動を進め、市民が賢い消費者となるよう進める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 消費生活センター開設のための研修会への参加。消費生活学習グループへの活動費補助金の交付。
平成21年度事業の效果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 消費生活に係るトラブルは多様化・複雑化しており、この状況に対応するためのスキルアップ及び啓発活動ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	9	112	国庫支出金	
	11	24	府支出金	消費者行政活性化事業費補助金 143
	14	1	起債	
	18	24	分担金・負担金	
	19	324	その他	
			一般財源	342
事業費合計		485	合計	485

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 啓発活動により、消費者トラブル等に対する意識が高まった。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 消費者啓発、センター開設準備に係る費用として、妥当なコストである。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 今後も、消費生活トラブルはより複雑化・巧妙化する傾向にある。市民の消費生活の安全確保のためには継続すべき事業である。
	事業規模の方向性 A A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 増加する相談に対応するため、平成22年度に消費生活センターを開設する。